



文化財の保存と活用に寄与

子ども文化財愛護活動表彰を市長に報告・11/13 No.5

比婆荒神神楽子ども神楽塾が「広島県文化財協会子ども文化財愛護活動表彰」を受け、木山耕三市長に報告しました。この表彰は県内の文化財の保存と活用に努め、地域文化の振興に功績のあった個人や団体に行われます。

子ども神楽塾の皆さんは、国指定の重要無形民俗文化財である比婆荒神神楽を次世代に継承していくために、田森自治振興センターで比婆荒神神楽保存会の指導のもと月2回の稽古を行っており、保存継承に大きな成果をあげています。

この表彰を期に、文化財の振興に向けたますますの活躍を期待しています。



▲比婆荒神神楽子ども神楽塾の塾生が直接木山市長に表彰を報告

地域の活力となる活動を評価

厚生労働大臣表彰を市長に報告・11/1 No.4

庄原市老人クラブ連合会の住田鉄也会長ほか4人の役員が、10月に京都府で行われた「第46回全国老人クラブ大会」での「優良市区町村老人クラブ連合会厚生労働大臣表彰」を受けたことを木山耕三市長に報告しました。

この厚生労働大臣表彰は、老人クラブの育成発展に顕著な功績のあった個人や団体に対し5年に1度行われます。今回、連合会では全国で46団体、広島県内では庄原市老人クラブ連合会のみが表彰されました。

住田会長は「今回の表彰は、元気を生み出す老人クラブ活動を、会員が一丸となって展開してきたことが認められ表彰された」と話していました。



▲表彰の報告をする住田会長(左)と木山市長(右)

列車の旅をより楽しく

JR備後落合駅「トロッコ列車」・11/6 No.7

西城町にある「秘境駅」として全国でも人気の高いJR備後落合駅で、期間限定トロッコ列車「奥出雲おろち号」がこの日も出発しました。

奥出雲おろち号は窓ガラスや壁がない車両があり、開放感あふれる車内から紅葉真っ盛りの木々や美しい清流など豊かな自然を堪能できます。JR備後落合駅では元国鉄機関士の永橋則夫さん(西城町小鳥原)によるボランティアガイドが行われ、観光客は芸備線の特徴の1つである急な勾配や昭和50年代の時刻表と当時の駅舎などについて、元国鉄機関士ならではのエピソードや体験談に熱心に耳を傾けました。

永橋さんは「『ありがとう』の言葉が励み。ガイドの活動は私の人生であり活力です」と話していました。



▲トロッコ列車の前でガイドする永橋さん(右)

新たな運動にチャレンジ

ひまわり会ミニミニ運動会・10/19 No.6

ひまわり会ミニミニ運動会が上高自治振興センターで開催されました。これは身体障害者に新たな運動にチャレンジしてほしいと高野町社会福祉協議会ひまわり会が企画したもので、3回目となる今回は比和共同作業所ゆめのいえと共同で開催しました。

当日は県立障害者リハビリテーションセンターおりづると庄原市身体障害者連合会の協力のもとフライングディスクなど4種類の競技が行われ、27人の参加者は助け合いながら果敢に挑んでいました。

ひまわり会の藤元恵里子さんは「障害があってもいろいろな運動ができることに気付き、新たな事にチャレンジするきっかけになればうれしい」と話していました。



▲競技を体験する参加者

健康づくりを考える

カラダ・ココロすこやかフェスタ・11/11 No.1

「みんなで広げよう健康づくり」をテーマに、「カラダ・ココロすこやかフェスタ」と世界糖尿病デー「ブルーライトアップイベント2017」を庄原市民会館で同時開催しました。

これまで春に開催していた「しょうば健康福祉まつり」の内容を、糖尿病や高血圧症をはじめとする病気の予防と健康づくりに目的を絞ったイベントとしてリニューアルし、開催時期も秋に変更しました。

当日は、健康・体力・認知症チェックのコーナーや、減塩や糖分に関するパネル展示のほか、食育ポスター・健康標語などの表彰、庄原保育所園児による合唱、シルバーリハビリ体操指導士による体操の実演、ウォーキングトレーナー池田ノリアキさんによる転倒予防やダイエット効果につながるウォーキングについての講演「1日15分！転倒予防やダイエット、健康寿命を延ばす時短ウォーキング講座」などのステージイベントがあり、市民が健康づくりを考える一日となりました。

また、世界各国、日本各地での取り組みに合わせ、11月9日から19日まで、庄原赤十字病院と庄原市役所本庁舎でブルーライトアップを行いました。



▲後ろに引くように腕を振るのがこつと説明する池田さん



▲たくさんの人が健康・体力・認知症のチェックを受けた

白熱したラリーを展開!

総領卓球大会&体操演技会・11/18 No.3

総領節分草スポーツクラブ・総領自治振興区主催による総領卓球大会&体操演技会が里山総領体育館で開催され、約80人が参加しました。この大会は、地域交流・世代間交流を目的として昨年度から開催されています。

試合は中学生以下の部・一般の部・ラージボールの部に分かれて行われ、鋭いスマッシュや白熱したラリーに会場からは拍手と声援が響いていました。

三次高校体操部による演技会では、男子新体操の迫力ある団体演技やダブルダッチなどの華麗な縄跳びパフォーマンスが披露され、会場を魅了しました。

参加者は「来年も大会へ出場したい」と話していました。



▲熱い戦いが繰り広げられた

戸締り用心、火の用心

幼年消防クラブ 防火パレード・11/2 No.2

秋の全国火災予防運動の一環で、みどり園保育所と聖慈保育所の園児が法被を着て口和町永田地区で防火パレードを行いました。園児は、保護者や備北消防マスコット「トンビ君」と一緒に拍子木を打ちながら「戸締り用心、火の用心」と訴え行進しました。沿道では地域の方が温かい声援を送っていました。

このパレードは火災が発生しやすい時季を迎えるに当たり、園児たちに火災の恐ろしさを認識してもらい、防火パレードを通じて地域住民の防火意識の高揚を図ることを目的とした行事です。

岡川順次口和方面隊長は「火事は非常に恐ろしいので、園児の皆さんも火の取り扱いには十分に気を付けましょう!」と話していました。



▲園児たちは元気に進んだ



伝統を今に受け継ぐ

No.8

東城まちなみぶらり散歩ギャラリー・お通り

10月28日から11月5日までの9日間、街道東城路（東城町市街地）で「東城まちなみぶらり散歩ギャラリー」が開催されました。街道沿いの約600メートルが丸ごとギャラリーとなり、商店や民家に伝わるお宝や絵画、手芸品が並びました。沿道では東城高校生徒によるボランティアガイド「東城応援隊」が、来訪者に見どころを案内していました。

11月4日には東城小学校をメイン会場に「お通り」が開催されました。「お通り」は江戸時代から続く伝統行事で、東城の五品嶽城主の長尾隼人が関ヶ原の戦いの勝利を祝ったことが始まりとされています。「お通り」ではサザンカで飾りつけた矢よけの武具「母衣」をはじめ、大名や武者、華童子など、総勢約130人からなる行列が東城の市街地を練り歩き、沿道は市内外から訪れた約1万5千人ものカメラ愛好家や見物客でにぎわいました。

神奈川県からの観光客は「古い町並みと行列がとても良い雰囲気だった。すばらしい行事なので今後も続いてほしい」と話していました。



▲東城まちなみぶらり散歩ギャラリー



▲お通り行列の「母衣」

さくら橋などがリフレッシュ

No.10

(一社)日本塗装工業広島県支部が奉仕活動・11/16

「いろいろ塗装の日」の11月16日（いろいろの語呂合わせ）に、上野総合公園で日本塗装工業広島県支部北部地区による奉仕活動が行われました。

この活動は、広島県支部に加入している市内の塗装業者が市の公共施設などをボランティアで塗装しているもので、平成11年から行われています。これまでも、各保育所をはじめ、公園の遊具やベンチなどさまざまな施設を塗り直していただきました。

12回目となる本年は、上野総合公園のさくら橋と旧取水塔を塗り直し、鮮やかな赤色がよみがえりました。



▲塗装作業を行う会員の皆さん

こつを覚えて素敵な写真を撮

No.9

初心者向け写真講座・10/31

日本写真家協会会員の金山一宏かなやまかずひろさんを講師に、比和自治振興区主催の初心者向け写真講座が開催されました。

参加者は、比和自治振興センターで、初心者でも簡単に手軽にきれいな写真を撮ることができるコツなどを教わった後、秋も深まり紅葉が美しく広がる吾妻山へ移動。それぞれが実際にデジタルカメラやスマートフォンを使って撮影しました。撮影後、休暇村吾妻山ロッジで、撮影した写真をプロジェクターで映し出しながら、金山さんの講評を受けました。

参加者は、「同じものを撮影しても、それぞれの感性や見方の違いで、まったく違う写真になることが分かり、カメラの面白さを実感した」と話していました。



▲参加者は金山さん（左）に助言をもらいながら撮影した